

第10回テニアンタコイズブルートライアスロンレポート

2009-06-04~07

sugimoto

「ブルーの海」が売りの大会であったが、高波でスイム中止となってしまった。。。

ロタと甲乙つけがたいと言われているブルーの海で泳いでみたい。そんな思いでエントリーした大会であるが、相手は「自然」であり何とも致し方ない。サイパンからはフェリーで約50分、船酔いする人が出るほど波はうねっている。この時期、年間を通じて一番海が安定している時で毎日「べた凧」が続くと言われていたが、明日ははたしてどうだろうか。

ここ北マリアナ諸島のサイパンに隣接したテニアン島は広島、長崎に飛来したB29が飛び立った島として知られている。島の北部には広大な基地があり、島には産業らしきものは全くなく、ただひとつ原野の中に何とも似つかぬカジノ付き巨大なダイナステリゾートホテルがある。ホテルを出るとまっすぐ南北に伸びる真っ赤な花を付けた火炎樹の道が続く、道をまたぐと直ぐにヤシの木が茂る海岸に出る。タコイズブルーと言われる海は想像どうりで表現しがたい程に綺麗だ。大会前日の公式試泳、水中撮影会は高波のため中止となった。波をものもしないスイマーが外海に出ていくのを見て、自分もその気になってみた。岸から少し離れれば波が崩れる事はない。大きなうねりの中での泳ぎは、長く泳いでいると船酔い気分になりそうだ。そこそこに切り上げ岸に上がろうとした時、不覚にも後ろからの大波が崩れ飲み込まれ、ほおり出された所にあったサンゴ礁の岩に右脚が触れ擦傷を負ってしまった。

大会はあさ7:30のスタートである。当日朝5:00海岸に出てみたが波は昨日と変わらない。スタート前の準備も何となくブルーな気分緊張感がない。そして7:00スイムなしのラン、バイク、ランに変更された。バイクラックにセッティングするまえに、バイクの最終チェックをしようと周辺を乗り回しUターンしようとした時、よろよろと立ちコケ状態で転倒、左肘、腰を打ってしまった。肘が胸骨を押し込んだ事で大きな息を吸うのが辛い。幸い外傷は目立たない程度で、なに事も無かった様にスタートラインに立った。第一ランは2km程度であったが、脚を運ぶたびに、息を吸うたびに痛みがはしる。バイクの40kmは路面も良く、南国らしいすばらしいロケーションだ。ただほとんど平地の無いタフなコースで2周目は気分的にマイツク。次第に痛み慣れ平静を取り戻したつもりであったが、長いまっすぐな下り坂でスピードを抑えていたのにハンドルがブレだし恐怖を感じた。攻める気持ちが無くなったり、気分が落ち込んでいると恐怖心が先に立ち腕に力が入る為と思う。最後の10kmランは行きが登り、帰りが下りの行って来いのコース。さすがに10:00ともなれば暑さは厳しい。約1km毎にある給水所ではとにかく身体を冷やす事と決め込むしかない。ゴール後は海辺に脚を投げ出しクールダウン？そして夕暮れからのアワードパーティまでマッタリと時が流れていった。

